

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場会社名 株式会社 多摩川ホールディングス
 コード番号 6838 URL <http://www.tmex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 JQ

(氏名) 宇留嶋 健二

(氏名) 小倉 俊一

TEL 0467-79-7027

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,411	△48.4	△56	—	△53	—	△257	—
21年3月期第2四半期	2,737	—	182	—	161	—	161	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△48.94	—
21年3月期第2四半期	30.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	2,711	1,328	49.0	252.53
21年3月期	3,009	1,465	48.7	278.67

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,328百万円 21年3月期 1,465百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,149	△26.7	△1	—	12	—	△196	—	△35.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 一社 (社名) 除外 6社 (社名 アプライト・テクノロジーズ社)
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	5,461,000株	21年3月期	5,461,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	201,648株	21年3月期	201,648株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	5,259,352株	21年3月期第2四半期	5,259,840株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資は増加を続け輸出や生産も持ち直し、景気は改善しつつあります。しかしながら、企業の厳しい収益状況を背景に設備投資は減少を続け、雇用・所得環境も厳しさを増す中で個人消費も弱く推移しており、さらには円高による輸出や生産への影響も懸念される等本格回復に至っておりません。

このような経済状況のもと、当社グループの主要な事業である電子・通信用機器の事業分野につきましては、3.9世代の標準化や2GHz帯TDD、3.5世代の高度化等の制度整備が行われ、それに伴った新しい引き合いが徐々に増えてきました。また、地上波デジタル放送関連機器は、中継装置等を中心に比較的底堅く推移しました。

レーザー機器につきましては、主要顧客が、米国をはじめとした世界景気の低迷の影響を受け、第1四半期連結会計期間において撤退を決定いたしました。

当社グループといたしましては、収益重視の観点のもとに営業・生産活動を行い、当第2四半期連結累計期間の受注高は1,357百万円(前年同期比42.3%減)、売上高は1,411百万円(同48.4%減)となりました。

損益面では、売上高は低調に推移し、営業損失は56百万円(前年同期は営業利益182百万円)、経常損失は53百万円(前年同期は経常利益161百万円)となりました。当第2四半期純損益につきましては、投資有価証券評価損199百万円及び未収配当金5百万円に対する貸倒引当金繰入額を特別損失として計上したことなどにより、四半期純損失257百万円(前年同期は四半期純利益161百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①電子・通信用機器事業

当第2四半期連結累計期間における売上高は、前連結事業年度後半からの売上高を維持しておりましたが、設備投資及びその更新が一段落したことに伴い、厳しい状況で推移いたしました。

売上高につきましては1,321百万円(前年同期比31.1%減)となっており、売上高の減少に加え営業費用が大きく圧迫し、営業損失128百万円(前年同期は営業損失10百万円)となりました。

②レーザー機器事業

第1四半期連結会計期間において撤退を決定いたしました。

売上高につきましては、89百万円(前年同期比89.1%減)となっており、売上高に対し営業費用が大きく圧迫し、営業利益1百万円(同98.6%減)となりました。

③その他事業

その他事業の売上高につきましては、210百万円となっております。主な内容は、子会社に対する経営指導料であります。営業利益は70百万円となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ298百万円減少し、2,711百万円となりました。

これは主に、投資有価証券評価損を計上した結果によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ161百万円減少し、1,382百万円となりました。

これは主に、買掛債務の減少を中心とした流動負債の減少と、有利子負債の返済によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、前連結会計年度末に比べ137百万円減少し、1,328百万円となりました。

これは主に、前述の特別損失の計上等を行った結果によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失、売上債権の増加、借入金の返済等の資金減少要因があり、前連結会計期間末に比べ209百万円減少し505百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果流出した資金は74百万円（前年同期は78百万円の資金流出）となりました。

これは主に売上債権の増加163百万円、仕入債務の増加104百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果流出した資金は42百万円（前年同期は68百万円の資金流入）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出14百万円及び無形固定資産の取得による支出24百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果流出した資金は70百万円（前年同期は117百万円の資金流入）となりました。

これは主に短期借入金の返済による支出9百万円、長期借入金の返済による支出91百万円及び社債の償還による支出66百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成21年11月6日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期業績予想につきましては、平成21年9月11日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるアプライト・テクノロジーズ社及びその子会社を解散したため、当社の関係会社から6社が除外されております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の棚卸高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出につきましては、一部実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切り下げを行う方法によっております。

② 定率法を採用している減価償却資産の減価償却方法

当連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分する方法により当第2四半期連結会計期間の減価償却費を計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	610,287	819,963
受取手形及び売掛金	1,143,676	1,033,012
商品及び製品	39,455	115,281
仕掛品	238,726	124,328
原材料及び貯蔵品	74,732	105,471
その他	19,756	46,657
流動資産合計	2,126,634	2,244,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	496,859	496,249
減価償却累計額	△341,068	△334,052
建物及び構築物（純額）	155,791	162,197
工具、器具及び備品	672,645	861,371
減価償却累計額	△593,615	△773,103
工具、器具及び備品（純額）	79,030	88,267
機械装置及び運搬具	33,688	49,056
減価償却累計額	△31,810	△46,907
機械装置及び運搬具（純額）	1,877	2,149
土地	197,903	197,903
有形固定資産合計	434,602	450,517
無形固定資産		
ソフトウェア	44,742	25,308
その他	21,936	22,059
無形固定資産合計	66,678	47,367
投資その他の資産		
投資有価証券	65,114	251,426
その他	188,207	35,670
貸倒引当金	△170,178	△20,114
投資その他の資産合計	83,143	266,981
固定資産合計	584,424	764,867
資産合計	2,711,059	3,009,581

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	473,398	511,194
短期借入金	200,772	210,000
1年内返済予定の長期借入金	105,520	163,810
1年内償還予定の社債	167,000	133,600
未払金	79,278	108,178
未払法人税等	3,114	6,808
賞与引当金	18,223	27,531
関係会社整理損失引当金	18,948	35,230
その他	52,500	29,885
流動負債合計	1,118,756	1,226,237
固定負債		
社債	132,600	132,800
長期借入金	50,420	83,660
繰延税金負債	4,382	1,375
退職給付引当金	76,769	71,404
その他	—	28,485
固定負債合計	264,172	317,725
負債合計	1,382,928	1,543,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,029,413	1,029,413
資本剰余金	1,023,804	1,023,804
利益剰余金	△669,869	△619,481
自己株式	△59,987	△59,987
株主資本合計	1,323,360	1,373,747
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,738	△5,015
為替換算調整勘定	32	96,886
評価・換算差額等合計	4,770	91,871
純資産合計	1,328,130	1,465,618
負債純資産合計	2,711,059	3,009,581

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	2,737,184	1,411,057
売上原価	2,026,035	1,147,645
売上総利益	711,148	263,412
販売費及び一般管理費	528,436	319,735
営業利益又は営業損失(△)	182,712	△56,323
営業外収益		
受取利息	902	1,866
受取配当金	16,934	282
その他	677	7,587
営業外収益合計	18,514	9,735
営業外費用		
支払利息	25,565	4,311
社債発行費	—	2,529
為替差損	14,511	95
その他	—	2
営業外費用合計	40,077	6,939
経常利益又は経常損失(△)	161,149	△53,526
特別利益		
固定資産売却益	4,008	—
特別利益合計	4,008	—
特別損失		
固定資産除売却損	3,336	—
投資有価証券評価損	—	199,999
貸倒引当金繰入額	—	5,130
その他	200	28
特別損失合計	3,536	205,158
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	161,622	△258,685
法人税、住民税及び事業税	1,620	2,095
法人税等還付税額	—	△3,381
法人税等合計	1,620	△1,286
少数株主損失(△)	△1,604	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	161,607	△257,398

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	161,622	△258,685
減価償却費	89,179	35,887
受取利息及び受取配当金	△17,837	△2,148
支払利息	25,565	4,311
為替差損益(△は益)	14,511	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	199,999
売上債権の増減額(△は増加)	13,800	△163,918
たな卸資産の増減額(△は増加)	189,030	△34,348
仕入債務の増減額(△は減少)	△361,468	104,294
その他	△132,872	43,551
小計	△18,469	△71,054
利息及び配当金の受取額	12,081	3,852
利息の支払額	△25,768	△3,363
法人税等の支払額	△45,852	△7,409
法人税等の還付額	—	3,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	△78,008	△74,593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,335	—
有価証券の売却による収入	255,820	—
有価証券の取得による支出	△200,878	△927
有形固定資産の売却による収入	58,542	—
有形固定資産の取得による支出	△52,817	△14,563
無形固定資産の取得による支出	—	△24,747
その他	△2,129	△2,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	68,871	△42,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	275,563	△9,227
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△172,494	△91,530
社債の発行による収入	—	97,470
社債の償還による支出	△66,800	△66,800
リース債務の返済による支出	△18,460	—
その他	△63	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	117,745	△70,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	371	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	108,980	△187,427
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△22,248
現金及び現金同等物の期首残高	601,214	714,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	710,195	505,143

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	電子・通信用 機器事業 (千円)	レーザー機器 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	922,182	541,836	—	1,464,018	—	1,464,018
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	105,000	105,000	(105,000)	—
計	922,182	541,836	105,000	1,569,018	(105,000)	1,464,018
営業利益又は営業損失(△)	△390	86,960	19,451	106,022	—	106,022

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	電子・通信用 機器事業 (千円)	レーザー機器 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	780,021	—	—	780,021	—	780,021
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,880	—	105,000	118,880	(118,880)	—
計	793,901	—	105,000	898,901	(118,880)	780,021
営業利益又は営業損失(△)	△26,214	—	34,384	8,170	—	8,170

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	電子・通信用 機器事業 (千円)	レーザー機器 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,919,294	817,889	—	2,737,184	—	2,737,184
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	210,000	210,000	(210,000)	—
計	1,919,294	817,889	210,000	2,947,184	(210,000)	2,737,184
営業利益又は営業損失(△)	△10,368	116,628	76,451	182,712	—	182,712

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	電子・通信用 機器事業 (千円)	レーザー機器 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,321,507	89,550	—	1,411,057	—	1,411,057
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,000	—	210,000	224,000	(224,000)	—
計	1,335,508	89,550	210,000	1,635,058	(224,000)	1,411,057
営業利益又は営業損失(△)	△128,453	1,651	70,478	△56,323	—	△56,323

(注) 事業区分の方法

事業は、製品の種類・用途により区分しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (千円)	シンガポール (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,053,982	410,036	1,464,018	—	1,464,018
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	110,339	110,339	(110,339)	—
計	1,053,982	520,375	1,574,357	(110,339)	1,464,018
営業利益	19,061	86,960	106,022	—	106,022

(注) 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (千円)	シンガポール (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,144,722	592,462	2,737,184	—	2,737,184
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	151,497	151,497	(151,497)	—
計	2,144,722	743,959	2,888,681	(151,497)	2,737,184
営業利益	79,592	103,119	182,712	—	182,712

(注) 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	東南アジア	計
I 海外売上高（千円）	410,036	410,036
II 連結売上高（千円）	—	1,464,018
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	28.0	28.0

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	東南アジア	計
I 海外売上高（千円）	592,462	592,462
II 連結売上高（千円）	—	2,737,184
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	21.6	21.6

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間において、四半期純損失が257,398千円あったものの、アプライト・テクノロジー社の解散に伴う連結除外による増加が207,011千円あったことにより、連結剰余金の金額が50,388千円減少しております。